

令和6（2024）年度 第2回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和7（2025）年2月14日（金） 14：40～
2. 場 所 栃木県立佐野高等学校 校長室
3. 出席者 委員4名、栃木県教育委員会事務局職員1名、本校職員5名
4. 司 会 高校教頭
5. 次 第

- （1）開会
- （2）学校運営協議会会長挨拶
- （3）校長挨拶
- （4）栃木県教育委員会事務局挨拶
- （5）議事（下記6に記載）
- （6）その他
- （7）閉会

6. 議 事（進行：会長）

ア 学校概況報告（中高教頭）

高校教頭

「創立記念講演では出版社に務める卒業生を講師として招き、プロフェッショナルとは何かについて、熱く語ってもらった。インターハイでは3年若菜君が200メートルで全国優勝を達成し、その他ローイング、将棋、個人出場の体操が全国行きを果たした。学校祭は2000名を超える来場者があり、今年度も盛況であった。修学旅行は長崎・福岡を訪問。芸術鑑賞会はオペラを鑑賞し、マラソン大会は青空のもと無事、終了した。3年生は共通テストを経ていま現在も奮闘中であり、日々、報告が寄せられている。」

中学教頭

「文化祭では全学年、総学の発表を行い、多くの参観を得た。部活ではラグビーが他県と合同で全国出場を果たし、女子テニスや水泳が関東出場。また、今年度も様々な機会を通して外部の方との接触があり、生徒は大いに刺激を受けた一年だった。」

会長

「今年度はインドネシアやタイ、台湾など外国との接触が増え、良いことだと思う。」

イ 学校評価（主幹教諭）

主幹

「当会に先立って評価委員会を開催し、様々なご意見を頂いた。以下、幾つかを紹介する。HPの更新については、昨年度に続いてもう少し頑張ってもらいたいとの意見が多数あげられた。また、女子の服装の乱れが気になるとの指摘も頂いた。合わせて、先ずは生徒らに話合わせることを軸に指導を強化してほしいとのアドバイスを頂いた。困難ではあるが、給食の導入に関する提案もあった。厳しい意見もあったが、総じて概ね好意的な評価を頂いたと思う。」

会長

「そもそも運営協議会設置の理由はDXの導入にある。今年度のDXの状況は？」

主幹

「選択3教室を大きく改造した。カーペット敷にして移動が容易な机と椅子を導入し、教室の四方をホワイトボード化するとともに各方面にプロジェクターを設置した。結果、探究活動などにおいて、班別協議をさらにアシストできる環境が整った。当然、日々の授業でも活用できる。また、今年度は脳科学者の講演を数回実施し、ハード・ソフトの両面で拡充を図った。」

会長

「旧パソコン室の状況は？」

主幹

「未だ着手していないが、選択3のような位置づけで検討している。英語演習室も同様。」

委員 A

「保護者よりも生徒の学校評価が低いのは何故だと考えているか。」

主幹

「今年の回答が例年と比べて確かに低い。原因はわからないが、今後も探っていきたい。」

会長

「自由記述の方はどうか。」

主幹

「幾つか寄せられているが、個人の意見なので、全体の低さとの相関関係をどう捉えるのかは難しい。」

委員 B

「生徒の評価の方が肯定的な項目もある。」

主幹

「例えば施設の古さについては、生徒はそれほど気にしていないようだ。」

委員 B

「また、生徒の方が〈よくあてはまる〉の回答項目が多く、決して低い評価とはいえないのではないか。」

会長

「もともと、保護者と生徒の評価を比較する必要は無いのかもしれない。あまり数字に囚われる必要は無いと思う。できた、と思うものは自信をもって高評価をつけても良いのでは。各部・各学年の自己評価が横並びでBでなくても良い。」

ウ 探究活動サポート専門部会（会長）

会長

「（自作の資料に基づいて）計6回の委員会を経て、今後、生徒の探究活動を支援する人財バンクをつくることができた。保護者の参加もあり、中学生の保護者の方が高校より多いのは、これからの期待も大きいからだろう。中学10名、高校5名、計15名の保護者の登録があった。かつ、25もの団体・個人の登録協力を得ることができた。」

委員 C

「正門前に開設された自習室に象徴されるように、地域とのかかわりが深い学校であることを改めて認識した。地域で活動する者として、今後もよりサポートをしていきたい。」

会長

「居場所カフェの活動も認知されている。来年度も継続するのか。」

校長

「図書室に移して規模は小さくなるが、できる範囲で継続したい。」

会長

「運営協議会もサポートできたと思う。」

校長

「年二回の協議会で、一年目でここまでの成果は出たのは率直にすごいことだと思う。委員の皆さんの積極的な活動に感謝している。」

会長

「人財バンクの開設は大田原高校もしている。同窓会を活用していて、多数の応募があったらしい。本校でも、今後、拡充のヒントになるのでは。」

エ その他

会長

「人財バンク以外で、何か取組案はあるか？」

委員 B

「例えば当委員会とは別に、小グループの会合をつくり、その意見を当会に反映させていくのも良いのでは。運営の持ち方にも工夫が必要だと思う。」

会長

「それをふまえると、生徒の意見をすいあげることが大切なことだと思う。当然、先生方の意見も。来年度のテーマとして留意したい。」

7. その他（連絡事項）

次年度は7月10日（木）に一回目の委員会を設定し、中高含めて10名程度の生徒を交えて開催することを確認。